

エコアクション 21

# 環境活動レポート

活動期間

平成27年3月21日～平成28年3月20日



EMIYA 株式会社 エミヤ

平成28年6月20日

# 目 次

1. 環境方針	1
2. 事業活動の概要	2
3. 中期環境目標	3
4. 環境目標と実績	4
5. 取組評価と次年度取組	5
6. 環境活動の取組内容	7
7. 環境活動の取組記録	9
8. 環境法規の遵守状況と関連事項	14
(1) 環境法規の遵守状況	
(2) 環境法規等違反による訴訟の有無	
(3) 環境法則に関連した苦情・要望等の有無	
9. 代表者による全体評価と見直し結果	

# 1. 環境方針

## 【基本理念】

株式会社エミヤは、電気設備資材の卸売業として、電気工事業界・通信業界・住宅業界へ照明器具をはじめとする電気設備機器・住宅設備機器を提供してまいりました。これらの事業活動は、オフィスビル・公共施設・住宅などの建築物や道路・通信網などの社会基盤整備へと直結しており、資源やエネルギー消費に及ぼす影響は多大です。従って、環境負荷低減への取り組みが当社の果たすべき社会的責任と認識し、継続的な環境負荷の軽減に努め、社会に貢献します。

## 【行動方針】

1. 事業活動を環境側面から見直し以下を重点項目として実施します。
  - (1) 業務のミス・ロス、クレームを削減して資源とエネルギーのムダを排除します。
  - (2) 省エネルギー・創エネルギー・蓄エネルギー機器、省資源対応の電気設備資材を提案販売することにより、低環境負荷社会の構築に貢献します。
  - (3) 3R（リデュース、リユース、リサイクル）を推進し、産業廃棄物の削減を行います。
  - (4) グリーン購入を推進します。
2. 環境マネジメントシステムを確立し、定期的に見直しを実施し、継続的な改善を行います。
3. 事業活動を行うにあたって、関連する環境の法規、条例及びその他の規制事項を厳守します。
4. 全員参加による環境保全活動を実施します。

制定 平成20年12月22日

改定 平成24年 4月11日

株式会社 **エミヤ**  
代表取締役社長 **三神 司**

## 2. 事業活動の概要

### 【1】事業所名 及び 代表者

会社名 株式会社 エミヤ  
代表者名 代表取締役社長 三神 司  
所在地 〒003-0030  
北海道札幌市白石区流通センター7丁目8番1号  
U R L <http://www.emiya.com/>

### 【2】環境管理責任者 及び 担当者

環境管理責任者 村井 弘幸  
事務局責任者 埴田 奈津子

### 【3】事業内容

電気工事材料及び建築資材の販売、家庭用電気製品・電気通信機器空調機器の販売、  
暖房機器・昇降機器・衛生・給排水設備機器の販売、介護用品のレンタル及び販売、  
介護リフォーム

### 【4】事業規模

活動規模 平成27年度 (平成27年4月～28年3月)  
売上高 94億44百万円  
従業員 117名  
床面積 11,593.60㎡

### 【5】対象事業所

札幌	〒003-0030	札幌市白石区流通センター7丁目8番1号
釧路営業所	〒085-0003	釧路市川北町4番17号
苫小牧営業所	〒053-0006	苫小牧市新中野町3丁目6番11号
函館営業所	〒041-0824	函館市西桔梗町589-49
小樽営業所	〒047-0013	小樽市奥沢2丁目9番1号

### 3. 中期環境目標

項目	単位	今年度 70期目標 (2015年)	1年後 71期目標 (2016年)	2年後 72期目標 (2017年)	3年後 73期目標 (2018年)
二酸化炭素排出量 ※排出係数 0.683 (kg-CO2/Kwh)	Kg-CO2	前年比▲1% 300,841	前年比▲1% 297,833	前年比▲1% 294,855	前年比▲1% 291,906
電力使用量	kWh	前年比▲1% 172,663	前年比▲1% 170,936	前年比▲1% 169,227	前年比▲1% 167,535
液化石油ガス使用量 ※1	m <sup>3</sup>	前年比▲1% 3,503	前年比▲1% 3,468	前年比▲1% 3,433	前年比▲1% 3,399
灯油使用量 ※2	ℓ	前年比▲1% 5,469	前年比▲1% 5,414	前年比▲1% 5,360	前年比▲1% 5,306
ガソリン・軽油使用量	ℓ	前年比▲1% 74,754	前年比▲1% 74,006	前年比▲1% 73,266	前年比▲1% 72,533
ガソリン・軽油使用量	(ℓ) /台	前年比▲1% 2,223	前年比▲1% 2,201	前年比▲1% 2,179	前年比▲1% 2,157
燃費 (1台あたり平均)	km/ℓ	前年比+5% 11.62	前年比+2% 11.85	前年比+2% 12.09	前年比+1% 12.21
一般廃棄物排出量	m <sup>3</sup>	前年比▲1% 59.4	前年比▲1% 58.8	前年比▲1% 58.2	前年比▲1% 57.6
水道排出量 (上下水道)	m <sup>3</sup>	前年比▲1% 1,576	前年比▲1% 1,560	前年比▲1% 1,544	前年比▲1% 1,529
コピー用紙使用量	kg	設定なし	前年比▲1%	前年比▲1%	前年比▲1%
<b>環境配慮商品の販売</b>					
省エネ提案件数 ①提案件数 ②受注件数	件	前年比+20% ①566件 ②305件	各部署設定 の合計	各部署設定 の合計	各部署設定 の合計
ミス・ロス削減による 環境負荷低減		分析と改善	分析と改善	分析と改善	分析と改善
グリーン購入	品目	前年比+1品目 (札幌・各営業 所共に)	前年比 +1品目	前年比 +1品目	前年比 +1品目

※1 苫小牧・函館除く

※2 函館除く・札幌は倉庫のみ

## 4. 環境目標と実績

当社における環境目標と実績は下記の通りです。

(2015年度 H27.3月21日～H28.3月20日) 70期より排出係数0.683を使用。

項目	単位	69期実績 (2014年)	70期 目標数値	70期実績 (2015年)		結果
二酸化炭素排出量 ※排出係数0.683 (kg-CO2/Kwh)	Kg-CO2	303,879.6	前年比 ▲1%	311,926.4	+2.6	×
電力使用量	kWh	174,407	前年比 ▲1%	168,150	▲3.6%	○
液化石油ガス使用量 ※1	m <sup>3</sup>	3,538.4	前年比 ▲1%	3,355.3	▲5.2%	○
灯油使用量 ※2	ℓ	5,523.7	前年比 ▲1%	4,824.4	▲12.7%	○
ガソリン・軽油使用量	ℓ	75,509	前年比 ▲1%	67,525.6	▲10.6%	○
ガソリン・軽油使用量 (1台当たり累計)	(ℓ) /台	2,246	前年比 ▲1%	2,008.6	▲10.6%	○
燃費 (1台当たり平均)	km/ (ℓ )	11.07	前年比 +5%	11.33	+2.3%	▲
一般廃棄物排出量	m <sup>3</sup>	60.05	前年比 ▲1%	57.77	▲3.8%	○
水道排出量 (上下水道)	m <sup>3</sup>	1,592	前年比 ▲1%	1,682	+5.7%	×
コピー用紙使用量 ※3	kg	3343.3	設定なし	6,561.8	+96.3%	-
<b>環境配慮商品の販売</b>						
省エネ提案件数 ①提案件数 ②受注件数	件	-	前年比+20% ①566件 ②305件	①463件 ②255件	①81.8% ②83.6%	×
ミス・ロス削減による 環境負荷低減	-	-	ミス・ロス分析 と改善。	各部署によるミス・ロ ス分析と改善策の実 行。		-
グリーン購入	43品目増加	-	前年+1品目 (札幌・営業所共に)	前年比+12.7% 21品目増加		○

※1 苫小牧・函館除く

※2 札幌・函館(3月度～)は倉庫のみ

※3 システム変更により、帳票類がコピー用紙に変更。70期は目標数値を設定せず、集計のみ。

## 5. 取組評価と次年度取組

評 価	次年度の取組
<p><b>◆電力使用量の削減 目標達成【▲3. 6%】</b>            全社で目標達成。本社では省エネ自動販売機の入替えて、従来の1台分節電できた。しかし、「使用していない場所の消灯」、「トイレ便座のフタを閉める」、「ウォシュレット・便座の設定温度を守る」といった当たり前のルールが守られていないこともあり、個々の意識の甘さは依然としてある。釧路は事務所照明、苫小牧は倉庫照明をLED化にし、それぞれ5.7%・7.5%の削減。函館・小樽もこまめな節電を行い、特に小樽は9.0%と一番の削減率であった。</p>	<p>前年1%削減。            苫小牧の事務所照明がLED化。更に節電が見込める。            全社を通して決められたルールの実行。初心に戻り、QC活動を通して徹底する。</p>
<p><b>◆ガス使用量の削減 目標達成【▲5. 2%】</b>            例年より10日早くクールビズ開始。小樽では8～11月迄使用を控えたことにより、41.7%削減。本社では残暑が厳しく夏場の使用は増えたが、暖冬だったこともあり、全体的には削減できた。会議室使用後のエアコンの消し忘れをなくすよう、退社前のチェックを継続中。</p>	<p>前年1%削減。            本社のエアコンによる使用量が多いので、クールビズ・ウォームビズをうまく取り入れて節約を行う。フィルターの清掃も引き続き行う。会議室使用後のエアコン消し忘れをなくす。退社前のチェックを徹底。</p>
<p><b>◆灯油使用量の削減 目標達成【▲12. 7%】</b>            冬期暖房の温度調節をこまめに行い、釧路・苫小牧・小樽で目標を達成できた。暖冬だったことも影響している。今期3月より函館の倉庫で灯油を使用。</p>	<p>前年1%削減。            気温に左右されるが、設定温度を守り実行する。ウォームビズの励行。苫小牧では、フィルターの清掃を取り入れる。</p>
<p><b>◆ガソリン・軽油使用量の削減（1台当りの使用量） 目標達成【▲10. 6%】</b>            全社で目標達成。地方営業の減少が影響。エコドライブも浸透しつつある。</p>	<p>前年1%削減。            ミス・ロスによる緊急配達・誤配達を減らす。</p>
<p><b>◆燃費（1台当りの平均）目標未達成【+2. 3】</b>            アイドリング削減を中心に各部署でエコドライブに取り組んでいるが、部署によってはなかなか結果に結びついていない。</p>	<p>前年2%UP。            急発進・急ブレーキ、無駄なアイドリングを減らす。また、荷台チェック・空気圧チェックを定期的に行い、燃費を向上させる。</p>
<p><b>◆一般廃棄物排出量の削減 目標達成【▲3. 8%】</b>            釧路・苫小牧・函館で目標達成。本社・小樽は、目標達成ならず。釧路では、荷造り用ビニール紐や梱包材等をリサイクルに出すなど改善に努めた。小樽では倉庫整理があり増加。本社では、過去4年間で一番の増加。単に人数増加が原因とは言いがたい。</p>	<p>前年1%削減。            個々のゴミ分別の意識向上と、廃棄の際は細かくして容積を減らすこと。QC活動で正しい分別を徹底して行う。また、増えた場合の原因追究を行い、改善する。</p>
<p><b>◆水道使用量の削減 目標未達成【+5. 7%】</b>            函館・小樽は目標達成。本社・釧路・苫小牧は目標達成できなかった。函館では水道の元栓の調節を行い4.5%削減。小樽も9.6%と大幅に削減できた。            達成できなかった本社・釧路・苫小牧も、常に節水を心がけているが、人員増加などの影響もあり増加。</p>	<p>前年1%削減。            改めて日常生活での節水を見直す。手洗い・食器洗い・洗濯の際の水位調節や、拭き掃除・窓掃除などで使用する水も調整しながら行う。釧路は雨水の利用（洗車）を継続。</p>

評 価	次年度の取組
<p>◆コピー用紙使用量の削減 目標設定なし【+96.3%】            基幹システム入替えにより、帳票類がすべてコピー用紙へ変更された。当初は、慣れない作業やプログラムミスによる無駄な用紙排出も相当あったが、少ずつ減ってきた。</p>	<p>前年1%削減。            裏紙の使用、両面コピー、メールでのやり取りなどを徹底し、無駄なコピー用紙の使用量を減らす。</p>
<p>◆環境配慮商品の販売            省エネ提案件数            提案件数 463 件 目標未達成【81.8%】            受注件数 255 件 目標未達成【83.6%】</p>	<p>全社で提案件数 620 件・受注件数 341 件を目指す。</p>
<p>◆ミス・ロス削減による環境負荷低減            「2S（整理・整頓）」を強化し、時短と効率アップを図った。昨年から引き続き本社QC調整会議を年2回行い、部署間の連携を図った。受注ミスを減らすため、受注メモの書式改善を検討。</p>	<p>中期目標を立て、活動のレベルを上げる。新受注メモの使用開始で受注ミスを減らす。また、「受注ノート」のモデルも全社統一する。            QCリーダー会議と本社QC調整会議を開催し、部門責任者会議で管理・推進する</p>
<p>◆グリーン購入 目標達成【全社21品目増加】            購入実績は、全社で21品目増加。前年比12.7%UP。            本社・営業所ともにエコ商品への切り替えを推進。</p>	<p>本社・営業所共に毎年1品目ずつ増やす。エコ商品にできるものは、順次切り替える。</p>



## 6. 環境活動の取組内容

二酸化炭素排出量の削減		
環境目標	取組内容	実施詳細
電力使用量	照明の節電	昼休み・退社時・使用していない場所の消灯
		事務所蛍光灯の照度調節
		不要箇所の光源取り外し
	電化製品の節電	融雪電力の節電
		天井ヒーターのこまめな切替
		トイレ便座のフタを閉める
		トイレ便座ヒーター夏場（6～9月）OFF
		トイレ主電源、帰宅時OFF
		トイレパネルヒーター禁止
		トイレジェットタオル禁止
		空気清浄機…不要時の電源OFF
		使用しないパソコンの電源OFF
		待機電力カット
		電気ヒーターのこまめなOFF
		夏場・不要時の電気ポット使用削減
コピー・FAX複合機を節電モードに保つ		
電気温水器の温度調節 夏場OFF（6～9月）・冬場40℃（10～5月）		
冷蔵庫にカーテンをつける		
ガス使用量 灯油使用量	冷暖房の適切な使用	冷暖房の温度設定 夏場28℃（6～9月）・冬場23℃（10～5月）
		使用しない場所は冷暖房を止める
		エアコンフィルターのこまめな清掃
ガソリン・軽油使用量	省エネ運転の励行	テレマティクス導入
		日報管理（走行距離）
		暖機運転は最小限にする
一般廃棄物排出量の削減		
環境目標	取組内容	実施詳細
事業系一般廃棄物	資源の保全	ミスコピー・ミスプリントは裏面を利用する
		両面コピーを使用する
		図面・見積は、メールでやり取りをする
		古紙類・空き缶・ペットボトル・空きビンに分別 マイ箸の推進
		エコキャップ・リングプルリサイクル運動
水道使用（排出）量の削減		
環境目標	取組内容	実施詳細
水道排出量	節水意識の向上	食器洗いや手洗いの際、水を出したままにしない
		洗濯の際の水位調節
		蛇口をシャワーへ替える

## 化学物質使用（排出）量の削減

当社は化学物質を取り扱っておりませんので、取り組み対象外とします。

## グリーン購入

環境目標	取組内容	実施詳細
環境配慮商品の購入	基本はエコマーク付	紙の無駄遣いをしない
		トイレットペーパーはシングル巻きであること。 芯なしトイレットペーパーの使用。
		文房具はリサイクル材を多く使用していること
		窓付封筒のエコ化

## その他

環境目標	取組内容	実施詳細
環境配慮商品の販売	省エネ提案	省エネ・省資源等の商品の販売・PRを推進 環境配慮商品の販売
環境目標	取組内容	実施詳細
ミス・ロスの削減による 環境負荷低減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受発注ミス</li> <li>・誤出荷・誤配送</li> <li>・新基幹システムの習得</li> <li>・財務ミス</li> </ul>	各部門のミス・ロス分析 件数・内容を正確に把握し、防止に努める

## 7. 環境活動の取組記録

### ◆環境方針の配布と社内提示



### ◆二酸化炭素排出量の削減



トイレジェットタオルの禁止



トイレ便座のフタを閉める



テレマティクスサービスで  
社用車走行管理



会議室・応接間・会長室の  
照明をLEDへ（札幌）



苫小牧倉庫LEDへ



照明スイッチに担当者をつけて管理  
（左：札幌）・（右：釧路）

※函館は事務所・倉庫、すべてLED照明

※釧路事務所もLED照明へ



エアコンスイッチに  
エリア担当者をつけて管理



部署ごとにエアコンフィルターの清掃を  
こまめに行っています。

### ◆一般廃棄物排出量の削減

---



裏紙の再利用



古紙の分別（古紙は専門業者へ）  
部署ごとに配置



産廃の分別

### ◆水道排出量の削減

---



節水表示  
蛇口をシャワーへ変換



節水表示  
トイレタンク（大・小の使い分け）

◆環境活動



ペットボトルキャップ寄付  
(札幌・苫小牧・函館・小樽合同)

リングプル回収運動

- ★函館（営）★  
2, 740個を函館市内小学校へ寄付
- ★札幌も分別を行っています。



事務所の周りに花を植えて  
景観を大切にしています（釧路）



定期的に事務所周りの雑草刈り・ゴミ拾いを行っています（苫小牧）

◆地震想定消防訓練（2015.8.11：札幌） ※対応手順に基づき、年1回実施しています。



※苫小牧・函館も地震想定避難訓練を行いました。（8/11）

◆教育訓練 ※エコアクション21を環境経営QC活動に取り入れています

- ① 4月経営方針全社大会で環境経営QCグループ活動発表…前期活動の総まとめと方針発表
- ② 部署ごとに月1回のQCグループ会議
- ③ 11月QC監査
- ④ 本社QC調整会議（全2回）
- ⑤ 10月経営方針確認会で全グループ中間発表。会長より上期反省と下期に向けての是正発表



部署ごとのQCグループ会議の様子



毎月活動内容を  
メールで報告



事務局より  
メールで情報発信。  
社員とのコミュニケー  
ションを図ります。



7月…第1回本社QC調整会議



10月…確認会議で中間発表（全13グループ）

◆ECOライフのご提案「なっとくガッ展 2015」開催 (2015. 6. 11~12)



◆オール電化・太陽光・LED照明のご提案

照明のプロが提案するLED照明化

病院・カソリスタンド・工場など  
照明を多く使う施設でのコンサルトを  
LED照明化のプロがしっかりとご提案。

LED照明に関する問い合わせが非常に多いため、お問い合わせはLED照明に関するご提案を  
させていただきます。札幌市内外にお客様の所在地に合わせて札幌支店の出張もさせていただきます。  
ご返信いたします。



現状と問題点を即座に分析  
お客様に必要な改善を提案

導入時のインシヤルコストと既存照明のランニングコストを  
組み合わせたシユレーションの作成実施も行いますので  
LED導入前における照度の電気使用料金を予測できます。



最高の技術をお客様にご提供します

※当社HPより

◆太陽光の設置 (札幌)



札幌本社で設置している太陽光



モジュール設置

70期 年間総発電量 6,504Kwh → 4,442.2 kg-CO2 削減

## 8. 環境法規の遵守状況と関連事項

### (1) 環境法規の遵守状況

環境法規の適用の有無に関しては、法規、条例を調査し、当社の事業活動の範囲から関連法則を抽出している。当社の事業活動に該当または関連している法律は、条例については、その規格の内容と要求事項並びに当社が実施すべき活動内容を記載した登録簿を作成し、これに基づいて当社の環境活動を実施している。

環境法規について違反はなかった。

### (2) 環境法規等違反による訴訟の有無

環境法律等違反による顧客・地域からの訴訟は現在まで発生していない。

### (3) 環境法則に関連した苦情・要望等の有無

顧客・地域・利害関係者からの環境関連の苦情・要望等の事例は現在まで発生していない。

## 9. 代表者による全体評価と見直し結果

### 28年度環境活動計画について

- 各項目を継続し、1%削減を目標とする。燃費は2%UP。
- ミス・ロス削減活動に重点を置き、環境負荷低減を行う。  
活動は中期目標や計画を基盤にレベルを上げて改善策を定着する。
- 環境製品の提案・販売について、省エネ提案件数と受注件数を目標に取り入れる。  
省エネ提案件数 620件 / 受注件数 341件  
その他環境製品の提案販売に注力する。
- グリーン購入の推進。
- QCリーダー会議・本社QC調整会議開催。